

京丹波町住民自治組織によるまちづくり検討委員会 第4回会議

日時 平成19年2月15日
午後7時～9時30分
場所 京丹波町役場2階議場
出席委員15名(欠席なし)

1 開会

2 あいさつ

委員長……町総合計画審議会が町に対して基本構想に対する答申をされた。まちづくりを進める上で非常に重要な計画であり、この検討委員会でも、総合計画に沿った検討を行っていききたい。策定にあたっては、3月議会での議決を経て行われるということなので、4月の第6回会議には町から報告を受けたい。

3 議題

(1) 先進地事例研修(旧美山町の事例) 事務局説明

委員……北部振興会は設立にあたって美山の振興会を参考にした経過がある。

振興会のイベントの実施にあたって役員の仕事が多いため、区長が役員となっているが、区長の負担軽減を図るためにも、区長以外の役員選出などリーダーの発掘が必要であると感じている。

委員……美山の事例資料のアンケート結果の中で、地域の活動に協力するという回答が多いが、その思いを引っ張ってまとめていくリーダーが重要であって、その人材発掘が非常に難しい。また、いかにみんなの意識を変えていくのかということが重要であると考えているが、この検討委員会の内容などを町民の方に広く知っていただくような情報の発信が重要ではないか。

委員……役員だけが運営をして、また情報を持っているというのではなく、地域の人たちに情報が行き届くような体制作りが必要である。

委員……人口が減っていく中で、無理のない運営を図るため、組織のスリム化と役割分担の重要性を感じた。

委員……これからまちづくりを進めていくには、行政も含め意識改革が必要である。この地域では、非常に意識が中途半端で、危機意識もそれほど高くない。地域の実情を知り、意識改革を進めていくことが重要であると感じた。

事務局……情報の公開については、広報、町ホームページ等により進めているところであり、その他にも様々な手法での公開を考えていきたい。

組織のスリム化については、地域にある様々な団体を構成団体とすることによって、地域振興会が連携、役割分担の場になり、効率的なまちづくりが期待できる。また、美山のように、各種団体を、外部組織であるが協力、協働団体と位置づけて連携をとることも考えられる。

《地域の実情意見交流》

(2) 町内既存組織の概要

委員・・・協働によるまちづくりを進めることが重要である。地域のことは地域で考え、実行していくということの意識改革が必要であるがなかなか難しい。

委員・・・この振興会によるまちづくりを推進していかなければと思っているが、私一人では、地域の人々に説明してもなかなか理解が得られない。やはり、この検討会の内容など、広く町民の方に知らしていくべきではないか。

委員・・・町のほうでPRもしていただきたいが、行政が協働や振興会の設立を進めていっても町民の中では反発も出てくる。私たちや町民の側でその必要性を広めていく必要があるのではないか。

委員・・・各種団体を構成とせず外部団体として協力、連携をとるということになると、役員だけの関わりになってしまうということを危惧する。各種団体も振興会の構成とすべきではないか。

事務局・・・地域の人たちが協働の意識で結ばれることは大事である。町内の既存する振興会では、区費とは別に会費を毎月徴収されている。地域のことは地域で考え、地域の手で実践するという意志の表れでもあるのでは。注目すべき点である。

委員・・・地域を主体とした振興会の議論が主に進んでいるように思うが、丹波みらい研究会では、地域ではなく、志を同じくした者で活動をしている。サポーター制もつくる中で、町内の団地に転入されてきた方が地域への活動の場がないのでという理由で参加されたり、大阪の方が参加されたりと幅広く参加されている。今、検討している振興会でそういった転入された方などが参加していけるのか。

事務局・・・住民自治組織として検討している振興会は、旧村地域や今までの地域のつながりなどを基盤として組織されるものであり、地縁による組織である。一方、丹波みらい研究会のように、区域ではなく、同じ志を持った者が集まりまちづくりをすすめるといった組織も存在する。NPO法人の活躍などがそうであり、志縁型の組織やテーマ型グループなど表現する場合もあるが、振興会のような地縁型の組織の検討から、NPO法人のような志縁型の組織との関係性についても検討していく必要もあると考えている。

4 その他

(1) 町内現地視察について

委員・・・町内を見て回ることは必要であると思うが、ただ、町内を満遍なく見て回ったのでは意味がないので、目的、要点を明確にして、ポイントを絞って行うべきである。

今ある5つの振興会を基盤としていくなら、振興会が現在ないエリアが広いのでそのことに焦点をあて、視察してはどうか。

委員・・・町内施設を見てまわるだけではなく、振興会の活動など、視察先のポイントを絞ったほうがよい。

委員・・・町内視察をするならもう一回会議を行って、その内容を検討する必要がある。

委員・・・視察の実施にあたっては、事務局で検討していただき、既存町内組織の視察などを盛り込むなど、視察案を次回会議で提案頂きたい。

委員長・・・次回も会議を行うこととして、あり方についての具体的な検討も行うが、この視察の件についても検討していただくこととする。

5 閉会

副委員長・・・町内現地視察の要点などを明確にして次回の会議に臨みたい。

次回会議

開催日：3月15日（木）午後7時00分から

会 場：和知支所会議室

今後のスケジュールについて（予定）

第 5 回	3 月	町内視察
第 6 回	4 月	町外先進地研修（講師招聘）※未定
第 7 回	5 月	検討
第 8 回	6 月	検討
第 9 回	7 月	検討
第 10 回	8 月	検討
第 11 回	9 月	まとめ
第 12 回	10 月	まとめ

検討事項（案）

- ① 協働のまちづくりについて
- ② 組織の位置づけ
- ③ 組織の規模
- ④ 住民自治組織の役割
- ⑤ 行政の役割
- ⑥ 行政との関係
- ⑦ 行政区との関係
- ⑧ 組織化のあり方
- ⑨ 支援のあり方

京丹波町略図

